

本月の草花

大 岩 金

球根草花に續いて本月は昨秋に下種致しました二年性花卉及び宿根草類の最も美しく開花してゐる時期であります。以下にあまり手のかからない比較的丈夫な花のみを植え込みました花園に開花して居ります二年性花卉に就て簡単に申し上げます。

(一)さんせんくわ

上品な花とは申されませんが相當に廣い場所に植え込んでありますと花數が多く色がはなやかで明るい感じがしまして草姿もさほど亂れませんか一寸人目を引きます。それに子供などは是が満面に赤くなつて居ります所などを見ますとそれは

く喜ぶやうであります。そして開花期間の長い事と申しましたら早くも三月中旬頃から咲き初めまして五月中旬位は觀賞出来るのであります。さてその栽培法としましては普通には秋播に致しまして春に開花させて居りますが又春播にして秋に觀賞する事も出来るのであります。種子は開花期間の長い丈に早いものから順次結實致しまして五月上旬頃から引き續き開花してゐる中に交つてくるのであります。そして一本の花軸に出來た種子丈でもかなり多數にあるのでありますから豫め大輪のものとか色のよいものとかよく八重になつたものなど種子用に望むもの丈に記をつけておきまし

て他は花の終るにつれて結實させないやうに切り取るやうにする方がよろしいのであります。即ち結實によつて勢力を減じますから。又開花してゐる中に結實したものが交ります時は外觀もそこなはれるのであります。しかし觀察の方面からの必要がありますやうな場合は特別であります。

さて採種すべき果實の熟したか否かは第一色によつてよくわかります。即ち成熟しましたものは果皮が黒褐色に變ずるのであります。そして果實に手指を觸れます時は容易に離れて落ちるのであります。それ故この期を失しますと自然と地に落ちて採種出来なくなります。のみならずこの種子は誠に發芽し易いものでありまして地に落ちましたものがその場で直ちに澤山生えるのであります。それ故秋播に致しますには採種致しましたならば蔭干と致しましてよく乾かして保存しておくやうに致します。播き方は種子も相當に大きい方に屬

し發芽もし易いのでありますから一般の播種法に準じ露地で苗床を造りましても箱蒔きにしましても播種鉢を用ひましてもよろしく用土も極普通のものでよいのであります。子苗を生じまして定植後に二三回移植致します事及び時に油粕の腐汁の如き液肥を施します事なども皆普通の二年性草類と同様であります。

(二)三色堇

草丈低く株張りのよろしいために多く縁取りにして居ります。名の示す如く黄、紫、白の三色からなつて居りますがその三色の中にも濃淡あり、ほとんど黄のみからなるもの、紫勝ちのもの等種々ありまして色彩の上から申しましてもなか／＼變つて居ります。又の名を遊蝶花とも申して居ります。が花瓣の形から名づけたものでありませう。かく花形も面白く色彩も美しく且つ丈夫で移植にも堪へ草丈も低い點などから鉢植としても充分觀

賞出来るものであります。

採種に就ては三色堇の果實は是が成熟前にはその花軸の先端即ち果實をつけた部分が下向になつて居るものであります。漸次熟するにつれて上向となり完熟致しました時にはすつかり首をもちあげて居ります。しかし尙果皮は緑色を呈して居るのであります。指先で果實をさへます時は果皮は縦に三裂して中から褐色の種子が無數にこぼれ落ちるのであります。この時は既に採種に適當な時期でありまして上旬になりましても尙果皮の黄變するのを待つて居りますとやがて指頭で觸れなくとも果皮は三裂して中の種子は全部飛散してしまふのであります。この點に注意して適當な時期に適當量の種子を收穫し余は前同様花の終り次第早く摘去するのであります。一般には始めのうちに結實しましたものの方が良種子のやうであります。

收穫致しました果實を蔭干に致しますには必ず袋に入れて口を閉じておくなり、他の器に入れました時には紙類で蓋をするなりしておかなければなりません。注意して聞いておきますればバチ／＼と何の音かと思はれるばかりにかなり大きな音を出して果皮がさけ同時に中なる種子は周圍に勢よく飛びちつてゐるのであります。かく致しましては折角採り集めました種子がみんなちり／＼になつてしまひます。

次に播種の時期は一般には秋播にしまして四月の頃から開花し始めるのであります。が七、八月の頃に播種しまして冬になり木框中に取り入れます時は一月から開花が見られます。又七、八月頃芽先を摘んで砂挿とし夏の炎天には葭簀の如きで日除をしてやりますれば更に播種によりましたものより早く九、十月頃に開花させる事も出来ます。尙栽培法として注意すべき點は根が小さく細いも

のでありますから荒い土よりも小さく砕いたもので基肥としても堆肥の如きを用ひますよりも油粕又は腐葉土を小さく砕いたものの方がよいのであります。

(三) アラセイトウ

葉に小さい毛がありますので光つてみえます。花色には赤、白、紫、などがあります。一般には一重でありますが八重もあります。秋に下種致しましたものも寒さに比較的丈夫であります。栽培法も簡單であります。只根が直根をもつて居りますので移植はしない方がよいのであります。それ故直播に致しますか極小さい時に小鉢に一本づつ移植しておきまして順次成長するに従つて大きな鉢にゆるめてゆくのも一方法であります。

果實は二三寸の細長いものであります。是が完熟致します時は中央に膜をへだてて左右に果皮が破れ種子が飛散するのであります。それ故はも飛

ばないうちに黄褐色をおびて参りましたならば莖ごと刈りとり蔭干致します時は果皮は破れて種子のみ集める事が出来ます。

(四) 矢車草

全體としての開花期間は長い割合に一つ／＼の花は短命であります爲一見しました所蓄もあれば満開もあり又既に結實してゐるものさへもありませんためにあまり引立たない感じも致しますが注意して一つ／＼の花を見ます時は形といひ色といひ誠にやさしみのあるなかく／＼すてがたい花であります。色には紫、白、桃、藍など様々であります。切花などには結構であります。是も至極丈夫でありますから秋蒔に致しましたものでも別に霜除しないで越冬する事が出来ます。又一年下種致しますれば翌年からはあちこちに飛散した種子で翌春になりますれば思はぬ所に發芽して参りますから是をひろい集めましても苗を得る事が出来ます。

一、二回移植して心を止めないでそのまま放置しておきます時は四尺位の丈の高いものになり二、三回摘心致しますればあまり丈が伸びませんで大きな株立となります。この場合には數本の支柱を枝の所々に立ててやりませんとやゝもすれば根が數多い枝を支へかねて根こぎにされるやうな場合があります。

切花として觀賞致しますにはなるべく結實しないものを選びその中でも是の交じつた枝は切取るやうに致します。

種子の完熟したものは花軸の先端からかけて黄褐色になり一見枯れたやうになりますからこの時早く採種するのであります。是もその度をすぎしますとみんな種子はいづこへかぬけ出てゐるのであります。

(五) 千鳥草

飛燕草とも申しますが是も花形からつけた名稱

であります。

あまり横に擴がらないで丈高く成長するものであります。花色も前者にゆづらぬ程種類多く寒さにもかなり丈夫でありますが是も移植はきらふやうであります。用途としては花壇植の外に切花として多く用ひられて居ります。次に種子が熟しますと果皮の先端が小さくほころびてその穴から黒色の種子が出るのでありますがこの期を失しますれば是も果皮の全部がさけて種子は採り得ないのであります。

(六) 蟲取撫子

ぼたん色の小花が枝打のよい枝先に一面に咲き揃ひました眺めも亦すてがたい趣があります。粘着性の分泌物を出します所からこの名が與へられたのであります。是も一度下種致しますれば翌年からは特に下種する必要のない迄に丈夫な種類であります。そして一切り花が終りましたならば

是を根本から四、五節残して切り去ります時は又新しく脇芽を出して再び開花を見る事が出来ます。種子は筒状になつた果實中に極めて小さいのが無數に出来て居りまして是にも小さい穴を生じますから枝毎刈り取つて紙上に振りおとします時は容易に採種する事が出来ます。

(七)虞美人草

ひなげしともいひ白、紅、紫、しぼり、覆輪など種々の色があり又一重のも八重のもありましていづれも本月の花園を賑やはせます。

花瓣は極めてうすく一重のなどは蝶の如き蟲が中に入るにつけても破れさうな感じが致しますが性質は寒さに對して極めて抵抗力強く霜除を要しません。しかし移植に對しては又特別に弱く是は必ず直播にしなければなりません。而して小さい時から數回の間引を行ひまして最後には二尺位の間隔をおくやうに致します。密植にすぎますと返

つて美花を見る事が出来ません。その他の栽培法は他のものと異なりません。種子は完熟した頃になりますと果皮は一般のものと同様に黄褐色になります。がコップ状になつた果皮の上部に皿様の蓋があります。が是が少しもちり加減になりましてコップと皿との間に間隔が出来ましてこゝから種子が採收されるのであります。尙是を放置しておきます時は花軸の先端が下垂して種子は自然に落下するやうになります。

その他の栽培法は他のものと大差ありません。
(八)けし

前者に比して草丈高く花も大きく四枚の單瓣からなるのが普通であります。が八重咲のものもあります。色は前同様種々あります。又栽培方法も前者と少しも異なりません。

(九)花菱草

もえるばかりの橙黄色をして可愛らしい花であ

ります。中には淡黄色、白色などもあります。あまり格別なものではありません。

けしの花を小さくしたやうな四枚の單瓣である事、移植を忌む事などはよく似て居ります。

種子の出來方は前者と異なつて居りまして是はアラセイトウによく似て居りますが更に一層飛び易く完熟しましたものと一寸指先で觸れた丈でもすぐに果皮が裂開して中の種子がこぼれ落ちます。

用途としては開花期間が長い事、葉と花との釣合のよいことなどで花壇植としても鉢植としても亦切花としても美事であります。

(十) スキートビー

温室作りの冬咲種について今露地で満開であります。白、紫、赤、桃、しぼり等種々あります。長い花軸の先に蝶形花を三つ四つつけ一齊に咲き揃つた所を花園で眺めるのも結構ですが切花とし

て一輪挿とするも芳香をもつて居りますのや色彩が豊富でありますのでなか／＼趣のあるものであります。

さてこのスキートビーはどんなのがよい花とされて居りますかと申しますに

- 1 一花梗に四五個位の花のついてゐること
- 2 花梗の長いこと

右のやうであります。が我々素人作りと致しましては先づ三四個位の所が上出來の方であります。栽培法と致しましては寒地を除きましては秋播に致しました方が生育の状態がよいやうであります。

寒さに對する抵抗力はかなり強い方です。から東京地方でも霜除しないで越冬されます。しかし簡単な霜除をしたにこした事はありません。注意すべきは直播にする事及び輪作(年々植え場所をかへること)にする事です。基肥と致

しましては堆肥に過磷酸石灰を交ぜたもの又は鶏糞に油粕を交ぜたもの等を用ひればよいのであります。かくて莖の成長するにつれ支柱を立てゝ是に誘引させてゆくのであります。この支柱には枯枝を利用致しましても篠竹を用ひてもよろしいのであります。が花園に作つて觀賞致しますには二畦に播き付け兩方から篠竹を屋根狀に組合はせば兩面が綠葉と花とで覆はれ外觀がよいかと思ひます。

鉢の場合は行燈支立がよろしうございます。

又採種用には鉢作りの方が大粒のよいものがえられます。

尙歩を運んで参りますれば數多咲いて居りますが今回はこれ丈にとどめておきます。

